

せとまちトーク進捗管理シート

深川 連区

テーマ

小学校跡地

課題・問題点の背景・理由

・小中学校の統合により、深川小学校の跡地利用が課題となっている。

解決手法

【行政】	【地域】	【その他】
<ul style="list-style-type: none"> ・早く、地域に概要を示してほしい ・市財源はないと思うので国県の予算補助が必要 ・行政プランを示してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・市からの主要用途が不詳(方向不明) ・市からの実現可能なこと、まとめの提示がほしい。 ・いつまでも、地域として良い案を出してくださいといわれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧校舎は、再利用不可

関係する常任委員会

総務生活委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

現状把握

政策推進課は跡地利用のハード整備に係る費用面で財政的な観点にたち、地元の方々との議論のたたき台になるような案を早急に示していく。まちづくり協働課は地域力を向上するための機能集約を、ソフト面で整理していく協議をすすめていく。この両面での議論が混在しないように交通整理をしながら地域と行政が一体となって跡地利用案を形成していく。公民館、せとっ子ファミリー交流館、児童発達支援室、等の機能について現在までの評価、検証と今後の展開も議論していく必要があると考える。行政も案を出していく必要があることは認識しており、取り組んでいる最中である。

世代間の考え方や優先項目が違うなど、議論が今後も重要で有ると思いますが、この地域に取って、例えば福祉施設か子育て環境施設か、また地域の活性化に向けた取組みか、地域全体として、瀬戸市の中心市街地として何が必要で、どう利活用するか世代を超えた議論が必要だと考えます。校舎の利活用か、更地にして多目的な利用が良いのか、地域住民の生活環境か市の中心市街地としての発信基地を目指すのか、今後の選択の重要度を地域の皆さんがどのような方向を示すのか注視する必要あり。

委員会として地区協議会の傍聴と進捗状況の確認をその都度行い、委員会で状況を共有し進展を促すよう担当課へ働きかけていく。

委員会として地区協議会の傍聴と進捗状況の確認をその都度行い、委員会で状況を共有し進展を促すよう担当課へ働きかけていく。